

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 市中病院における感染症内科のプレゼンスに関する検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の背景] 日本感染症学会専門医の数は2024年5月15日現在で認定者数：1812名とされていますが実際に感染症内科を標榜している病院はその3分の1ともいわれ、抗菌薬適正使用、感染対策、感染症コンサルテーション、ワクチン外来、渡航者診療など感染症専門医の業務は多岐にわたりますが、特殊な検査手技や手術があるわけではないため、専門を志す若手の獲得に難渋するとともにどこの病院でも常時必要とされる科としてのプレゼンスはまだまだ影響力が小さいです。

しかし一方で新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックのときなどは、感染症内科があることにより適切な感染対策指導が可能であり有事の際に必要な科であることは言うに及びません。

感染症内科の存在により適切な抗菌薬使用量、患者さんの病気の改善などに与えた影響は大きいという報告もあるため、今回、公立陶生病院の感染症内科の発足の前後での抗菌薬使用量、黄色ブドウ球菌、心筋血症の患者予後の変化、CDI発生件数、病院の感染に対するコストを比較して、そして新型コロナウイルス感染症における対策をふくめ感染症内科の有効性を評価いたします。

■ 研究の対象となる方

2013年1月から2024年12月に公立陶生病院に入院された方で以下の疾患の方の患者情報

■ ご協力頂く内容

黄色ブドウ球菌菌血症、カンジダ血症、CD 腸炎の方は採血、画像、検査結果、背景、症状、臨床経過などのデータとし、抗菌薬を使用された方前半はその使用量の統計データを研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究責任者研究責任者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 研究期間 実施許可から2026年3月末まで

■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 FAX 番号 0561-82-9139
研究責任者 感染症内科 武藤 義和